



ルーポップ

Roopop

抱っこひも

取扱説明書／保証書

首がすわってから体重15kgまでのお子さま1人用抱っこひもです。



〈タテ抱っこ〉

〈おんぶ〉

このたびはGRACO®製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
本書に記載されている以外の方法でご使用されると、製品の機能が充分発揮できない
だけでなく大変危険です。
本書をお読みになった後は、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

目次

ご使用前に	1
安全にお使いいただくために	2
ご使用上の注意	3
製品を取り出した時に	5
バックルの使い方	6
各部の調節方法	6
タテ抱っこ(首がすわってから 体重13kgまで)	7
タテ抱っこの準備	7
タテ抱っこの装着方法	7
タテ抱っこの確認	9
フード	10
レッグホルダー	10
おんぶ(首がすわってから 体重15kgまで)	11
おんぶの装着方法	11
おんぶの確認	13
タテ抱っこからおんぶへ	13
フード	15
月齢が小さい時	16
おんぶの降ろし方	16
その他	17
点検について	17
お手入れについて	17
保証とアフターサービスについて	17
SGマークについて	18
保証書	裏表紙

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー用品 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

抱っこひもについて

- この製品は、お子さまを抱っこやおんぶして、外気浴、買い物の時などに使用するための1人用抱っこひもです。ご使用前にP5「各部の名称」をご確認ください。

表示内容について

- 「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
表示	表示の内容
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

使用できるお子さまの月齢について

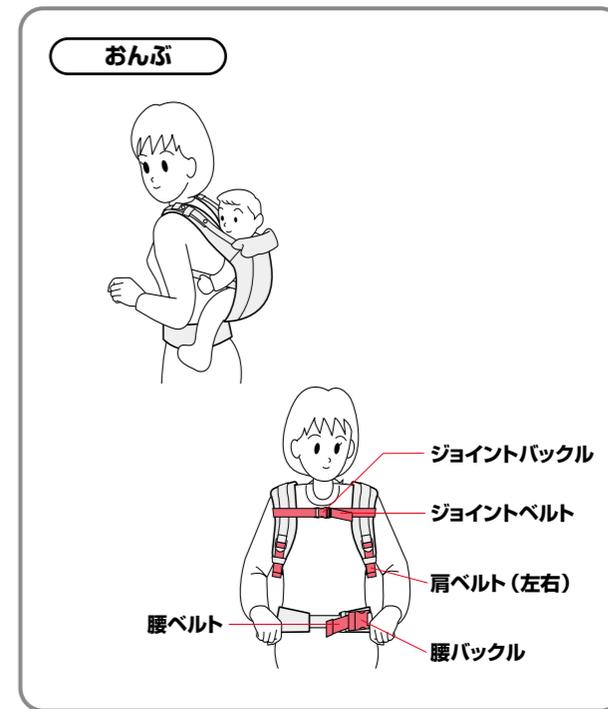
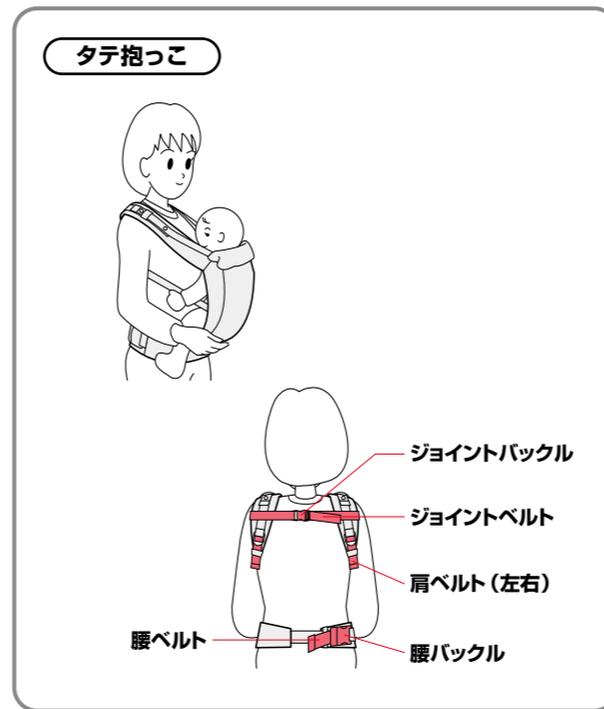
- お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

参考月齢	0カ月	首すわり(4カ月)	24カ月	36カ月	体重の上限
タテ抱っこ					13kgまで
		首がすわった4カ月から24カ月(体重13kg)まで			
おんぶ					15kgまで
		首がすわった4カ月から36カ月(体重15kg)まで			

- お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。

安全にお使いいただくために

- ご使用の際は、バックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下し思わぬ事故やけがをされるおそれがあります。
- ベルトの長さを装着者の身体にあわせて調節してください。お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下しけがをされるおそれがあります。



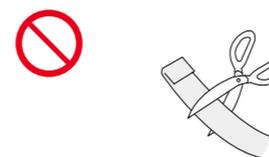
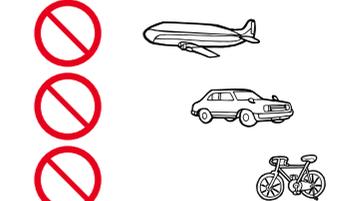
- 腰ベルトサイズ：74cm～118cm。
- 体型によって冬場など厚着の時には使用できない場合があります。

ご使用上の注意

ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
腰バックル、ジョイントバックルを外した状態で使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。 	肩ベルト、腰ベルト、ジョイントベルトは必ず調節し、緩めた状態で使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。 	走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。 	首のすわらない、お子さまに使用しない。 お子さまが体調を損なうおそれがあります。 
タテ抱っこでは、体重13kgを超えるお子さまに使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。 	おんぶでは、体重15kgを超えるお子さまに使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。 	ポケット付きの場合は、とがったものを入れない。 お子さまが、けがをするおそれがあります。 	乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫することがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。装着状況を確認するため、連続2時間以上使用しない。お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。 

警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。		
・お子さまを保護者の身体に顔を強く押しあてた状態にしない。本製品内で窒息するおそれがあります。 ・乳幼児を保護者の身体に強く縛り付けた状態にしない。乳幼児の頭部を動かす余裕があるように装着する。本製品内で窒息するおそれがあります。 ・着脱する際は、お子さまの落下に注意し正しく装着する。乳幼児が開口部から落下するおそれがあります。	・おんぶや抱っこをする時や降ろす時は低い姿勢で行う。身体を傾ける際に落下しないように気を付け、手で支える。また頭が下向きにならないように膝を曲げて腰を落とす姿勢で行うよう注意する。お子さまが落下するおそれがあります。 ・お子さまの状態に注意しながら使用すること。気道をふさぐ事がないよう注意する。窒息や思わぬ事故につ	ながるおそれがあります。 ・お子さまの顔が強く使用者の胸につき気道をふさぐ状態で使用しない。気道がふさがると窒息するおそれがあります。 ・料理など家事をする際は、お子さまの様子に注意する。家事に気をとられ、お子さまのやけどなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

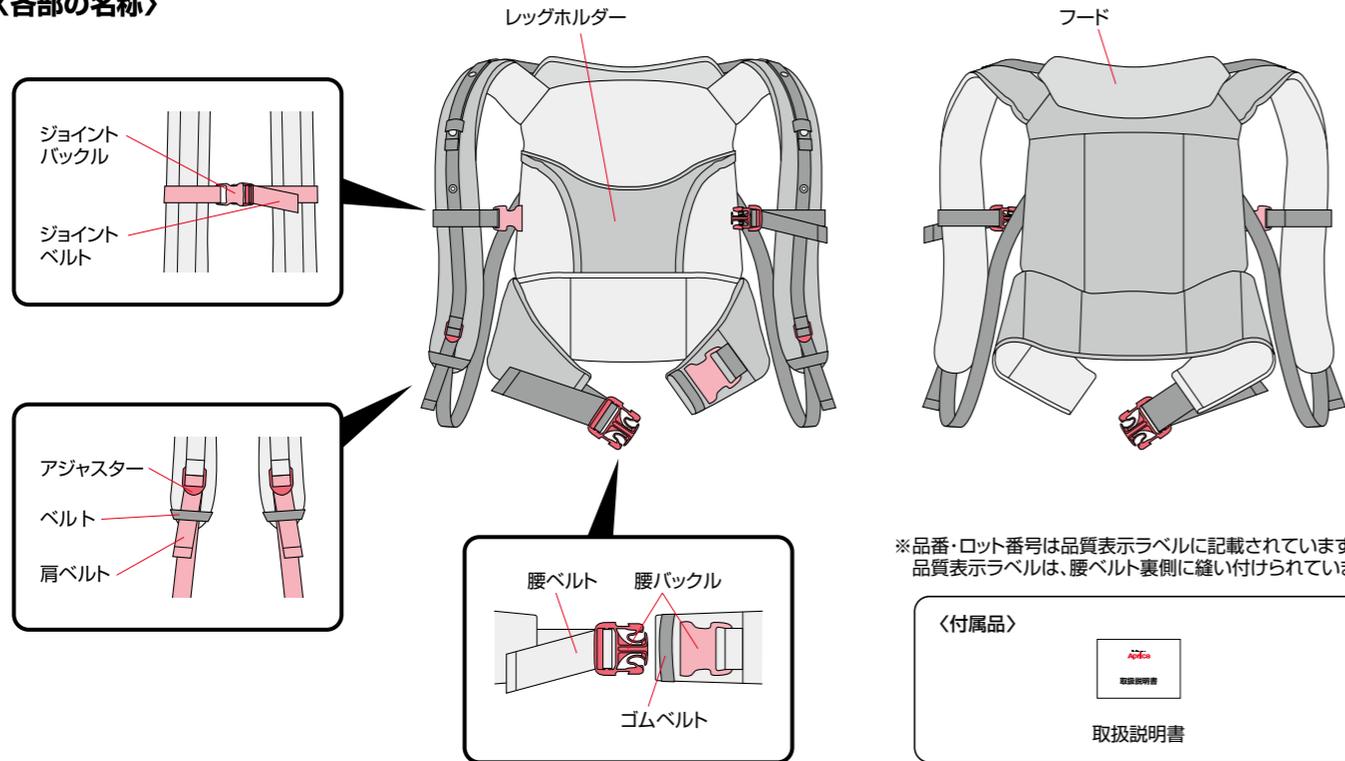
警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。		
ベルトの先端の返し縫い部をほどこいたり、切り落とした後に使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。 	バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態では使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。 	飛行機、車、自転車、バイクでは使用しない。思わぬ事故につながるおそれがあります。 

注意 ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。				
・装着者およびお子さまの体調がすぐれない時や、使用中に痛みや不快を感じた時は直ちに使用を中止してください。				
バックルは使用していない時も外したままにしない。お子さまがバックルに指を入れるおそれがあります。 	抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。 	火気の取り扱い中や、ストーブなど火の近くに放置しない。 	直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。 	その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用。 

製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターまですみやかにご連絡ください。

〈各部の名称〉

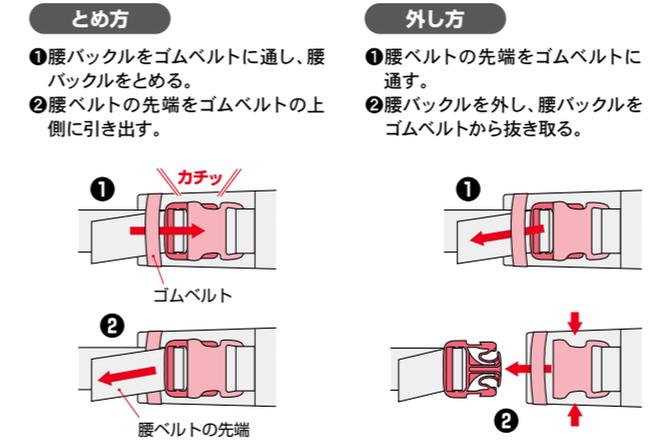


バックルの使い方

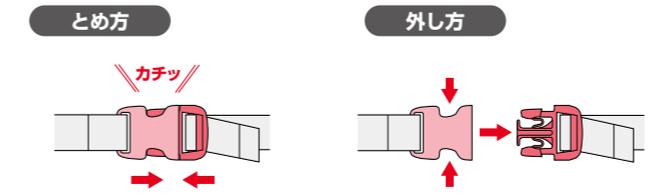
注意

- ・バックルを必ずとめてください。
- ・とめないで使用するとお子さまが落下し思わぬ事故やけがをされるおそれがあります。

〈腰バックル〉



〈ジョイントバックル〉



各部の調節方法

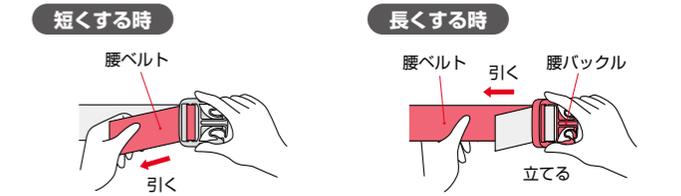
注意

- ・ベルトの長さを装着者の身体にあわせて調節してください。
- ・お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下し思わぬ事故やけがをされるおそれがあります。

〈肩ベルト〉



〈腰ベルト〉



〈ジョイントベルト〉

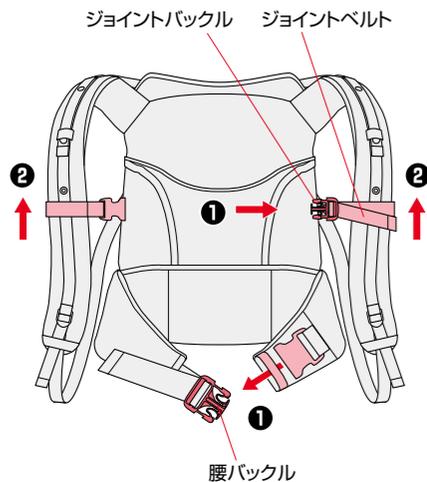


タテ抱っこの準備

- ①腰バックルとジョイントバックルを外す。
- ②ジョイントベルトを上にはずらす。

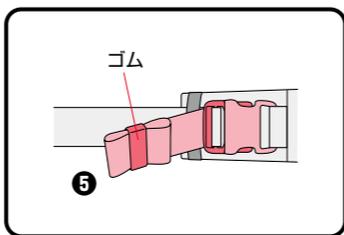
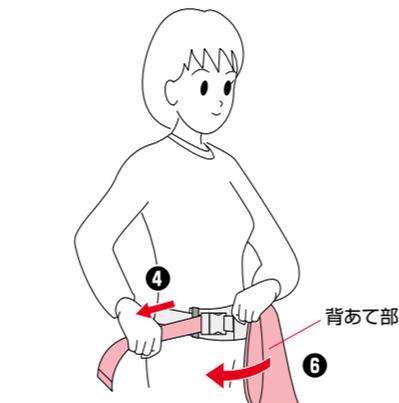
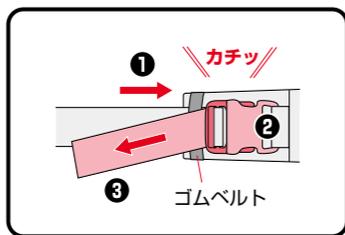
アドバイス

・ジョイントベルトを上にはずらすと、後で(P8⑨)首の後ろでジョイントバックルがとめやすくなります。



タテ抱っこの装着方法

- ①腰バックルをゴムベルトに通す。
- ②腰バックルをとめる。
- ③腰ベルトの先端をゴムベルトの上側に引き出す。



- ④腰ベルトを調節する。
- ⑤あまったベルトをゴムでまとめる。
- ⑥背あて部を正面にする。

- ⑦お子さまを抱き上げ、抱っこひもに乗せる。



警告

- ・抱っこをする時や降ろす時は低い姿勢で行う。身体を傾ける際に落下しないように気をつけ、手で支える。また頭が下向きにならないように膝を曲げて腰を落とす姿勢で行うよう注意する。お子さまが落下するおそれがあります。
- ・着脱する際は、お子さまの落下に注意し正しく装着する。お子さまが開口部から落下するおそれがあります。
- ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

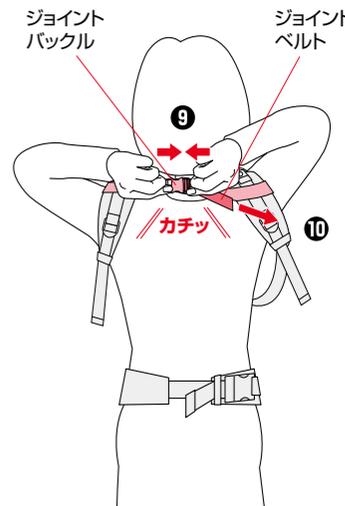
- ⑧左右の肩ベルトをかける。



アドバイス

・お子さまの腕は、肩ベルトの外側でも内側でも構いません。外側に出ている時に、お子さまが反り返る場合は、肩ベルトの内側に腕を入れてください。

- ⑨首の後ろでジョイントバックルをとめる。
- ⑩ジョイントベルトを調節する。



警告

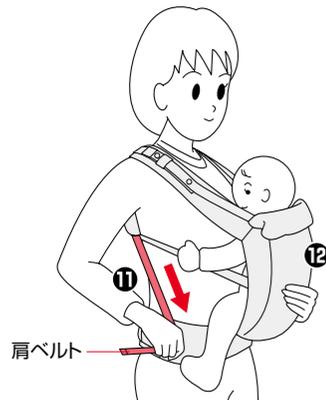
- ・お子さまを保護者の身体に顔を強く押しあてた状態にしない。本製品内で窒息するおそれがあります。
- ・乳幼児を保護者の身体に強く縛り付けた状態にしない。乳幼児の頭部を動かす余裕があるように装着する。本製品内で窒息するおそれがあります。
- ・お子さまの顔が強く使用者の胸につき気道をふさぐ状態で使用しない。気道がふさぐと窒息するおそれがあります。
- ・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさぐと窒息するおそれがあります。

タテ抱っこの装着方法 (つづき)

- ①左右の肩ベルトを調節する。
- ②お子さまの位置を調える。

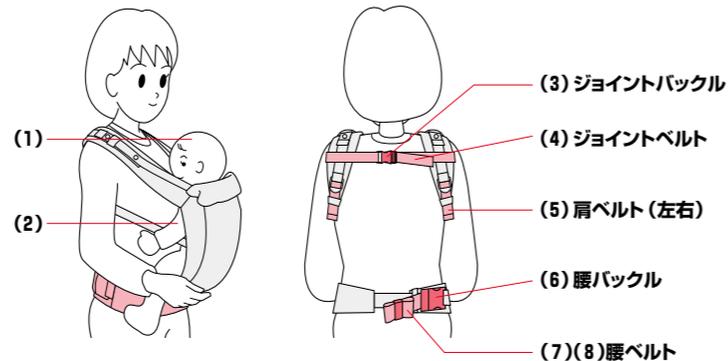
- ③鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。
- ④正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

警告 ・正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。



タテ抱っこの確認

- (1) お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない
- (2) お子さまの両腕が出ている
- (3) ジョイントバックルが確実にとまっている
- (4) ジョイントベルトを調節している
- (5) 肩ベルトを調節している
- (6) 腰バックルが確実にとまっている
- (7) 腰ベルトを調節している
- (8) 腰ベルトの先端はゴムベルトの上側に引き出している



アドバイス

・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
 ・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に抱っこひもの跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、抱っこひもに直接触れないようにしてください。

警告 ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
 不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

フード

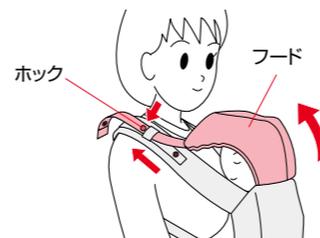
- ・お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。

〈使用しない時〉



〈使用する時〉

- ①左右のフックを外す。
- ②お子さまにフードをかぶせ、引っ張って左右のフックをとめる。



警告 ・フードを使用の際は、特にお子さまの様子に注意してください。
 気道がふさがると窒息するおそれがあります。

レッグホルダー

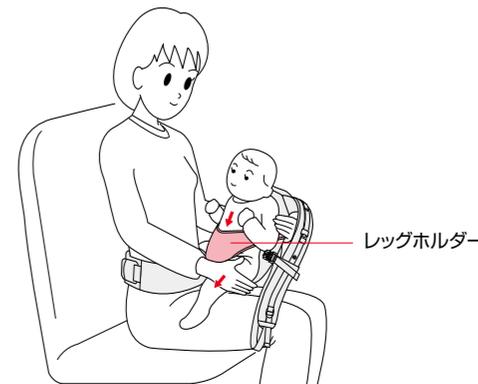
- ・タテ抱っこ時も、レッグホルダーを使用できます。
 使用すると、お子さまがより安定します。

※レッグホルダーは、お子さまが小さい間(18カ月頃まで)ご使用ください。

アドバイス ・タテ抱っこ時、レッグホルダーを使用すると「抱っこからおんぶへ」の切替がより安定してできます。

〈使用する時〉

- お子さまの足をレッグホルダーに通す。



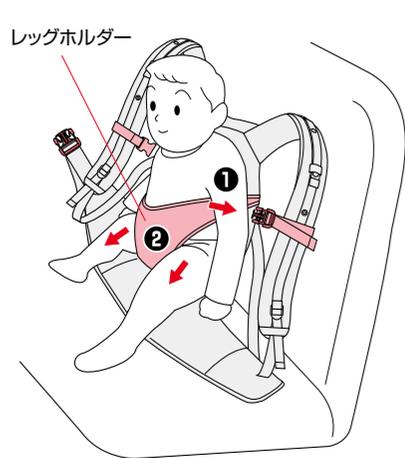
警告 ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
 不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

おんぶの装着方法

(つづく)

- ①腰バックルとジョイントバックルを外す。
- ②お子さまの足をレッグホルダーに通す。

※レッグホルダーは、お子さまが小さい間(18カ月頃まで)体を安定させる為にご使用ください。



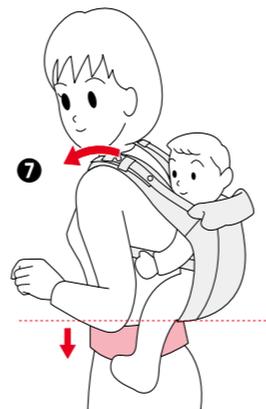
- ③左右の肩ベルトをかける。



- ④腰バックルをゴムベルトに通す。
- ⑤腰バックルをとめる。
- ⑥腰ベルトの先端をゴムベルトの上に出す。



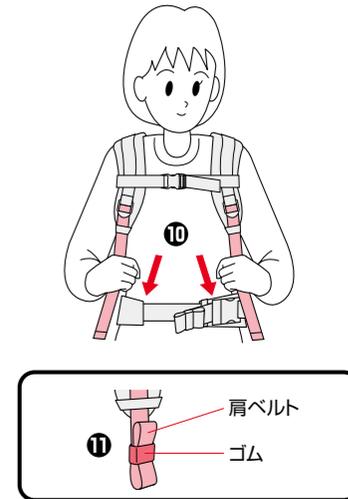
- ⑦腰ベルトの位置をお子さまのお尻より低くなるように調節する。(左右の肩ベルトを調節したり、腰ベルトの位置を下げる。)



- ⑧腰ベルトを調節して、あまったベルトをゴムでまとめる。
- ⑨ジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。



- ⑩左右の肩ベルトを調節する。
- ⑪ベルトをゴムでまとめる。



アドバイス

・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
 ・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に抱っこひもの跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、抱っこひもに直接触れないようにしてください。

アドバイス

・お子さまが装着者の腰に安定する位置にする。

警告
 ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。特に、ひとり座りができる前のお子さまをおんぶする際には他の人に手伝ってもらうとより安全です。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

警告
 ・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。

注意
 ・お子さまの足が腰ベルトと装着者の間に挟まらないように注意してください。

おんぶ

首すわり〜体重 15 kg

おんぶ

首すわり〜体重 15 kg

おんぶの装着方法 (つづき)

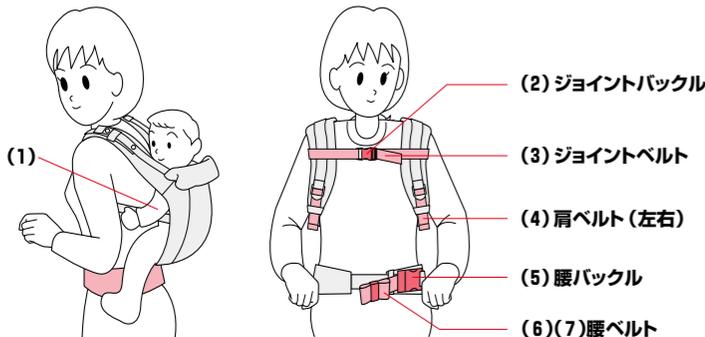
- ⑫鏡などに姿を映して、おんぶの状態を確認してください。
 ⑬正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



警告 ・正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

おんぶの確認

- (1) お子さまの両腕が出ている
 (2) ジョイントバックルが確実にとまっている
 (3) ジョイントベルトを調節している
 (4) 肩ベルトを調節している
 (5) 腰バックルが確実にとまっている
 (6) 腰ベルトを調節している
 (7) 腰ベルトの先端はゴムベルトの上側に引き出している

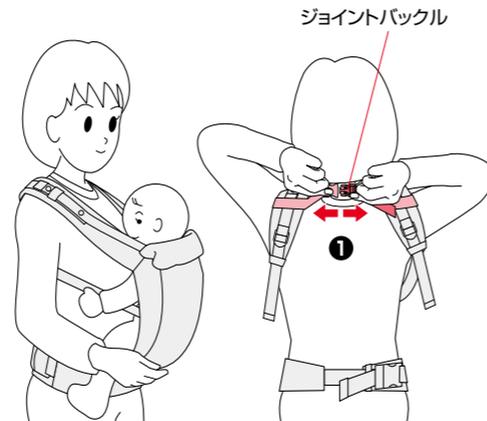


注意 ・装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。

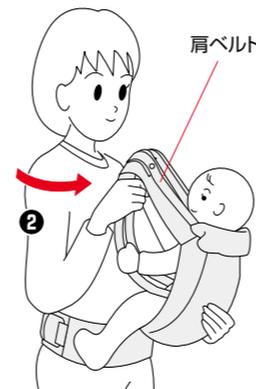
タテ抱っこからおんぶへ

- ・タテ抱っこ時、レッグホルダーを使用している場合に限り可能です。

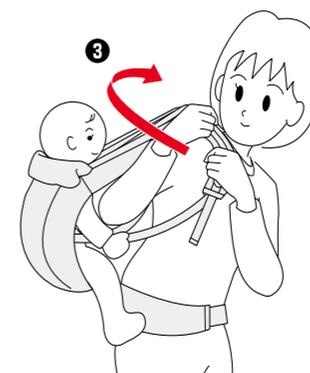
- ① タテ抱っこの状態でジョイントバックルを外す。



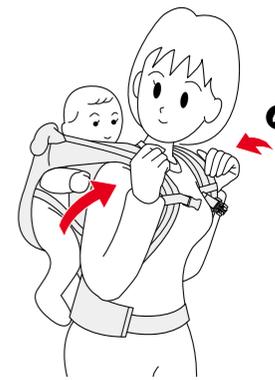
- ② 左右の肩ベルトを肩から外し、まとめる。



- ③ 肩ベルトをしっかり持ち、お子さまを支えて背中側にまわす。



- ④ 左右の肩ベルトをかける。



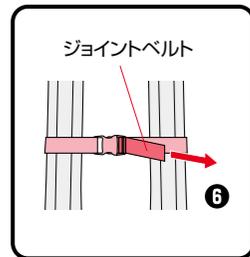
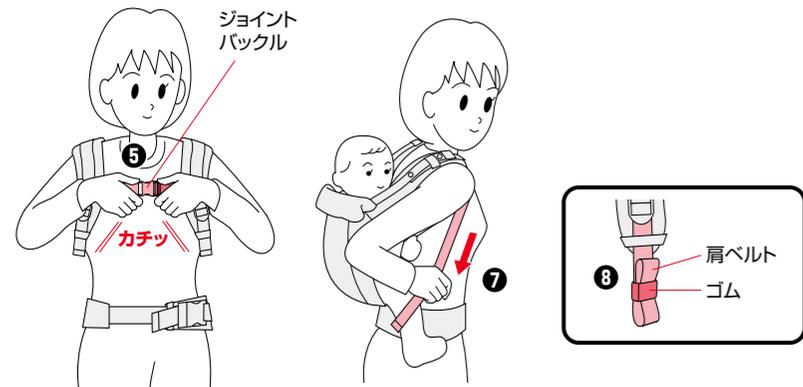
警告 ・抱っこからおんぶへ変える時は、必ず安全な場所で行う。他人に手伝ってもらったより安全です。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



警告 ・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。

タテ抱っこからおんぶへ (つづき)

- ⑤ ジョイントバックルをとめる。
- ⑥ ジョイントベルトを調節する。
- ⑦ 左右の肩ベルトを調節する。
- ⑧ ベルトをゴムでまとめる。
- ⑨ 鏡などに姿を映して、おんぶの状態を確認してください。
- ⑩ 正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



警告 ・正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に抱っこひもの跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、抱っこひもに直接触れないようにしてください。

フード

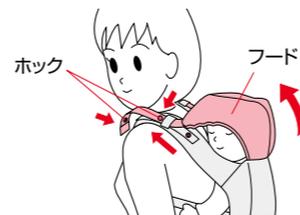
- ・お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。

〈使用しない時〉



〈使用する時〉

- ① 左右のホックを外す。
- ② お子さまにフードをかぶせ、引っ張って左右のホックをとめる。



警告 ・フードを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
・**気道がふさがると窒息するおそれがあります。**

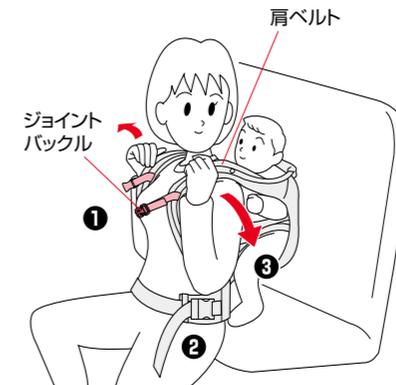
月齢が小さい時

- ・お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。

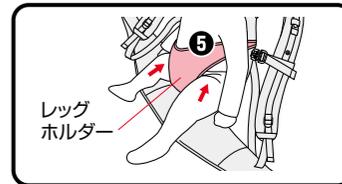


おんぶの降ろし方

- ① ジョイントバックルを外す。
- ② お子さまをゆっくり降ろす。
- ③ 肩ベルトを外す。
- ④ お子さまを降ろし、腰ベルトを外す。
- ⑤ お子さまの足を、レッグホルダーから抜く。



警告 ・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらおうとより安全です。
・**不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。**



点検について

- ・ご使用前に、バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずが無いことを確認してください。異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

お手入れについて

〈軽度の汚れの場合〉

- ・濡らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で平干ししてください。

〈抱っこひも本体を洗濯される場合〉



※ねじり又は絞り禁止

- ・抱っこひも本体については洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

- ・蛍光剤入りの洗剤を使用すると、移染することがありますので、使用しないでください。
- ・色落ちするおそれがありますから、他の物とは別に洗濯してください。
- ・抱っこひも本体は30℃以下の水で押し洗いし、形を整えて干してください。
- ・漬け置きしないでください。
- ・洗濯後、充分乾燥させて使用してください。
- ・乾燥が不十分な場合、カビなどが発生する可能性があります。
- ・漂白剤を使用しないでください。

保証とアフターサービスについて

- ・保証期間中（**購入日より1年間です。**）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償にて対応をいたします。ただし、製造中止後の製品については、対応出来ないこともあります。

〈アフターサービスについての連絡先〉

〈電話連絡先〉

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

ベビー用品 お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

SGマークについて



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、抱っこひもの場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。

〈抱っこひものSGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。〉

- ・タテ抱っこ：4カ月から24カ月（体重13kg）まで
- ・おんぶ：4カ月から36カ月（体重15kg）まで

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害（物的損害）を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。

連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただけます。（原則として60日以内）

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階 TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度